

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和2年2月13日(2020.2.13)

【公表番号】特表2017-521516(P2017-521516A)

【公表日】平成29年8月3日(2017.8.3)

【年通号数】公開・登録公報2017-029

【出願番号】特願2016-575740(P2016-575740)

【国際特許分類】

C 0 8 L 21/00 (2006.01)

C 0 8 L 9/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/36 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 L 33/10 (2006.01)

B 6 0 C 1/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 21/00

C 0 8 L 9/00

C 0 8 K 3/36

C 0 8 K 3/04

C 0 8 L 33/10

B 6 0 C 1/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】令和1年12月26日(2019.12.26)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ゴム組成物であって、

- 補強用充填剤、
- 架橋系、

- 架橋系に対して反応性であるエラストマーマトリックスであって、エラストマーマトリックスが、エラストマーAの少なくとも20mol%のモノマー単位を表す第1のメタクリル酸エステルモノマー単位を含むエラストマーAを含んでおり、エラストマーマトリックス中のエラストマーAの含量は、少なくとも50phrであり、

エラストマーAが数種のモノマーのポリマーである場合には、エラストマーAは統計ランダムコポリマーである、前記エラストマーマトリックス
をベースとする、前記ゴム組成物。

【請求項2】

第1のメタクリル酸エステルモノマー単位が、エラストマーAの少なくとも30mol%のモノマー単位を表す、請求項1に記載のゴム組成物。

【請求項3】

第1のメタクリル酸エステルが、式(1)に対応する、請求項1又は2に記載のゴム組成物

$$\text{CH}_2=\text{C}(\text{CH}_3)-\text{COO}-\text{Z} \quad (1)$$

(式中、Zは、1個以上のヘテロ原子によって置換されてよく、中断されてもよい、少なくとも2個の炭素原子を含む炭素ベース鎖である)。

【請求項 4】

Zが炭化水素ベース鎖である、請求項3に記載のゴム組成物。

【請求項 5】

第1のメタクリル酸エステルが脂肪族化合物である、請求項 1 ~ 4 のいずれか1項に記載のゴム組成物。

【請求項 6】

エラストマーマトリックスが、架橋系に対して反応性であるモノマー単位を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか1項に記載のゴム組成物。

【請求項 7】

エラストマーマトリックスが第2のエラストマーであるエラストマーBを含み、エラストマーBが架橋系に対して反応性であるモノマー単位を含む、請求項 6 に記載のゴム組成物。

【請求項 8】

エラストマーBがジエンエラストマーである、請求項 7 に記載のゴム組成物。

【請求項 9】

エラストマーA中に存在する第1のメタクリル酸エステルのモノマー単位が、エラストマーAの100mol%のモノマー単位を表す、請求項 7 又は 8 に記載のゴム組成物。

【請求項 10】

エラストマーAが、架橋系に対して反応性であるモノマー単位を含む、請求項 6 に記載のゴム組成物。

【請求項 11】

補強用充填剤が無機充填剤を含む、請求項 1 ~ 10 のいずれか1項に記載のゴム組成物。

【請求項 12】

補強用充填剤がカーボンブラックを含む、請求項 1 ~ 11 のいずれか1項に記載のゴム組成物。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 12 のいずれか1項に記載の組成物を含むゴムでできている半製品。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の半製品を含むタイヤ。